

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【公開番号】特開2005-204988(P2005-204988A)
 【公開日】平成17年8月4日(2005.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報2005-030
 【出願番号】特願2004-15490(P2004-15490)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A
 A 6 3 F 5/04 5 1 6 E
 A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

図柄を表示可能な表示手段と、
 遊技媒体が投入される遊技媒体投入手段と、
 役の抽選を行う抽選手段と、
 前記抽選手段による抽選結果として成立した役に対応する図柄が前記表示手段に表示された場合に、前記成立した役に応じた所定の遊技価値を遊技者へ付与する遊技機であって、

遊技における複数の付加機能を記憶する記憶手段と、
 前記付加機能を選択的に実行させる付加機能実行手段と、
 前記付加機能実行手段により実行可能な付加機能毎に複数の段階を設定し、当該設定された複数の段階のうち所望の段階の前記付加機能を手動操作により切り替えることが可能な切替手段とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記切替手段は、前記付加機能のいずれかを選択的に切り替え可能であり、前記付加機能実行手段による前記付加機能の実行確率に応じて複数の段階に切り替えることが可能であるとともに、前記付加機能の実行確率が同一であり且つ実行される付加機能の種類が異なる複数の段階に更に区分けして切り替えることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記記憶手段は、前記付加機能及び前記付加機能の実行確率を対応付けて記憶し、前記切替手段は、前記記憶手段に記憶された前記付加機能及び前記実行確率の対応を前記手動操作の結果に基づいて選択することを特徴とする請求項2に記載の遊技機。